

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	オーエンス泉岳自然ふれあい館
2	指定管理者	株式会社オーエンス
3	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数(延べ)》84,503人(前年度比89%) (令和元年度) 本館:38,150人 市民キャンプ場:10,296人 休憩コーナー:32,906人 古民家:3,151人 (平成30年度) 本館:42,579人 市民キャンプ場:10,645人 休憩コーナー:37,501人 古民家:4,318人 (平成29年度) 本館:41,715人 市民キャンプ場:9,185人 休憩コーナー:31,819人
		《事業》 ○受入れ事業 本館:328組 延べ34,008人 (小学校,中学校,子ども会,家族,幼稚園,保育園,他) ○主催事業 65事業:延べ1,909人 ※ボランティア事業含む ○野外活動ボランティア事業 養成講座修了者:1名 登録者:89名 ボランティア支援:64回 延べ207名 ※上記の事業の他に、泉ヶ岳の情報の収集と利用者への提供、軽食堂及び売店の運営、下見対応等を行っている。
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 129,514千円 (126,326千円) ・ その他市が負担した費用 4,822千円 (4,067千円) 《収入》 ・ 使用料収入 8,045千円 (8,588千円) ・ その他収入 33,488千円 (36,224千円)
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート (H31.4～R2.3に実施) ・ 事業参加者アンケート (H31.4～R2.3に実施)

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	教育委員会が定める運営の基本方針に加え、指定管理者独自の基本方針が策定されており、その周知も行われている。また、集団宿泊活動や自然体験活動等の支援が適切に行われており、施設の設置目的が達成されている。	30/30
II 施設の運営管理体制	開館時間、職員体制、指定管理料の執行状況は仕様書のとおり適正である。個人情報保護及び情報セキュリティ対策については、必要な対策が講じられている。また、事故防止及び災害発生時の対応状況については、マニュアル等が整備されており、定期的にセルフチェックや訓練を実施するなど職員への周知も行われていることが確認できた。	29/29
III 施設・設備の維持管理	建物・設備に目立った損傷等は見られず、発見された不具合についても適正な対応が図られており、利用者が安全に利用できる状態が保たれている。また、環境負荷軽減については、仕様書に基づき取組みが行われていた。	24/24
IV サービスの質の向上	職員のマナーについては、マニュアルの整備、研修の実施等により適正である。施設の利用情報の提供については、ホームページやフェイスブック、リーフレット、新聞、フリーペーパー等により周知が図られている。また、利用者アンケートを実施し利用者の意見を取り入れた改善を検討するなど、サービス向上の取組みも行われている。	28/28
V 施設固有の基準	売店や軽食堂の運営について、地元産品を積極的に取り入れ、泉ヶ岳周辺地域の振興に資する取組みがなされている。野外活動支援については、仕様書のとおり適正に行われており、怪我や急病にも適切な対応が図られている。運営上求められる保険加入については、仕様書のとおり適正である。	22/22

三 評価総括

《指定管理者（株式会社オーエンス）による自己評価》

令和元年度は第1期に培ったノウハウをもとに事業や職員研修の充実を図り、市民に親しまれる施設運営に取り組み、利用者数は84,503人になった。9月・10月の台風や1月・2月の雪不足、3月の新型コロナウイルス感染拡大による一部受入れ停止等の影響を受けたが、年間目標であった84,450人を達成することができた。市民キャンプ場の利用者数は、2年連続で1万人を超え、市民への認知度の高さが鮮明になっている。新型コロナウイルスによる休館期間中は、自宅学習となった児童生徒向けに家庭でも出来るクラフトや息抜きに出来る手遊び・料理、ふれあい館周辺の植物紹介する動画を作成し、ホームページ・Facebookを通して配信した。

主催事業では、古民家「旧熊谷家住宅」を会場として「古民家デイキャンプ」「泉ヶ岳を写そう」など、林に囲まれた立地や建物の雰囲気を生かした事業を開催した。また、立地環境を生かし新たに「野鳥観察会」を春・秋・冬に開催し、少人数制を生かした学びの深い事業を実施できた。ボランティア事業では「ボランティア養成講座(全5回)」や「ボランティアスキルアップ講座(全13回)」を開催した。元年度は延べ64回207名のご支援をいただき、学校利用時の登山支援等は先生方からも喜ばれた。ボランティアの皆さんはふれあい館にとって心強い存在であり、今後もボランティア活動の目的とふれあい館の事業がマッチした場面で協力関係を築いていきたい。

維持管理面では、計画的な設備保守点検の実施とともに、職員による修繕や植栽管理で施設の安全性や美観の維持に努めた。今後も青少年の健全育成と市民の生涯学習振興に尽力し、柔軟な事業展開で市民に喜ばれるサービスの提供に取り組んでいく。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

当施設の運営について、指定管理者は協定書及び仕様書に基づき適正に執行している。

施設利用者数については、令和元年度の総利用者は84,503人であり、前年度比89%であるが、台風や雪不足、新型コロナウイルス感染拡大防止のための一部受入れ停止の影響と考えられる。市民キャンプ場及び休憩コーナーも前年度に比べ利用者は減少しているが、悪天候による利用キャンセルや登山客の減少が考えられる。そのような状況下でも一定以上の水準を維持できたことについて、指定管理者の施設運営と積極的な広報の成果と評価できる。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための一部受入れ停止期間中には、自主的に自宅学習向け動画や施設周辺の自然を紹介する動画等を作成し、ホームページ等で配信することで学習支援や広報に繋がった。

主催事業及び独自事業では、雪不足により内容を変更して実施せざるを得ない事業があり、状況に応じて試行錯誤しながら実施していることが伺えた。また、野外活動ボランティアについては、スキルアップ講座の開催に加え学校利用や主催事業の活動支援等、学んだ成果を活用できる機会を年間を通じて提供しており、生涯学習施設としても十分な機能を果たしていると評価できる。

利用者アンケートでは、いずれの項目においても良好な回答が得られており、利用者満足度は高い水準を保っている。

第1期に引き続き安定した施設運営ができていると評価する。今後は、指定管理者としてこれまでに蓄えたノウハウを活かしたより効率的な施設運営や効果的な広報、魅力的な事業の企画等が期待されるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を含めた利用者が安心して利用できる施設運営についても、これまで以上に注力いただきたい。

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局生涯学習部生涯学習課